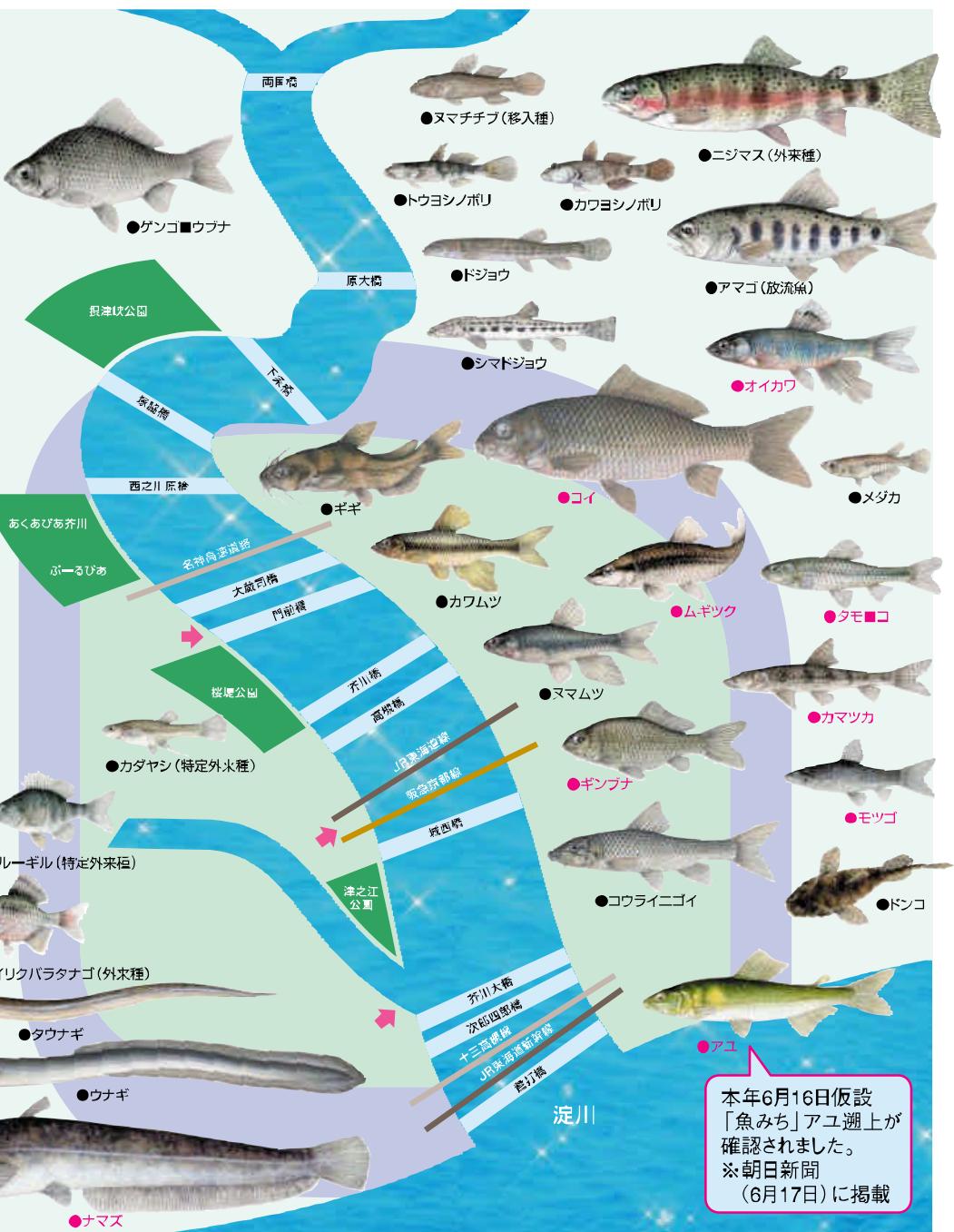


## 特集

## ひとと魚にやさしい芥川を目指した

高槻市の中心部を24kmにわたって縦断する芥川は、摂津峡の渓谷から市街地、淀川合流部に至るまで、多様な生態系と自然を湛えています。以前は川沿での農業や漁業を支えていた芥川も、都市化等により住民との関わりが希薄になっていました。しかし近年、自然とのふれあいを求めるニーズが徐々に高まるにつれ、芥川のもつ魅力は再認識され、市民による清掃活動や環境学習も年々盛んになり、今では高槻市民にとって大切な憩いの場となっています。芥川下流の落差工では、2年続々でアユが確認されるなど、自然復帰が見られること等を受け、天然アユをシンボルに昨年7月、「芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク」、即ち「芥川俱乐部」が誕生しました。私たちは、さらに地域の人々に親しまれる川を目指すため、市民参加型のネットワーク作りを進めて行きます。

- 周辺の水辺(水道・ため池)とのネットワーク
- 芥川・淀川の緑のネットワーク
- ▶「魚みち」づくりのポイントとなる段岸
- 実験魚みちを越上した魚



ILLUSTRATED BY nature works

様々なテーマと  
課題を軸に

あくたがわ府民協働

「調査・研究」部会が  
開かれています。

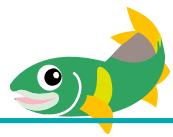
- 2004年  
9月14日 国・府・市・学識経験者で現地調査実施  
9月22日 国・府・市・学識経験者で懇談会開催
- 2005年  
1月27日 芥川・ひとと魚にやさしい川づくり  
('魚みち'部会) 創催  
5月28日 芥川最下流落差工で天然・遡上アユ発見  
10月17日 簡易実験魚道の設置とデータ収集
- 2006年  
3月23日 JR下流落差工で小型土のうによる魚みち設置(出水により破損)  
4月 8日 芥川大橋上流落差工で小型土のうによる魚みち設置(出水により破損)  
4月21日 芥川大橋上流落差工で大型土のうを使用し、実験魚みち修復  
5月 1日 JR下流落差工で大型土のうを使用し、実験魚みち修復



ENJOYING  
遊ぶ!  
あくたがわ府民協働

- 2005年  
4月29日 鯉のぼりフェスタ1000にて  
水辺の生き物ペーパークラフト教室開催
- 11月12日 万博公園・環境フェスティバル21にて  
アート・クラフト遊びと共にPR活動
- 11月20日 芥川・水辺フェスタにて  
石ころアート教室・芥川の魚を描くを開催
- 2006年  
4月29日 鯉のぼりフェスタ1000にて水辺の生き物  
ペーパークラフト教室開催





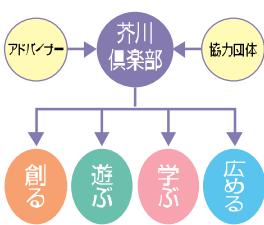
## みんなの力ですすめよう。 魅力あふれる芥川づくり

自分たちの町の川を自分たちで美しくする。そのような思いが川づくりを活発に、継続的に進めて行く原動力となっていきます。この取り組みは行政だけではなく、市民みんなの参加が欠かせません。川づくりの目標をたて、目的を達成するためには、みんなの知恵と力が必要だから。また、企業や教育機関のパートナーシップも大きな力となります。当然、みんながバラバラな方向で活動しても成果は得にくいでしょう。市民の交流、そして情報交換など、また大学や研究機関との連携から、このプロジェクトが推進されていきます。

川づくり推進のイメージ

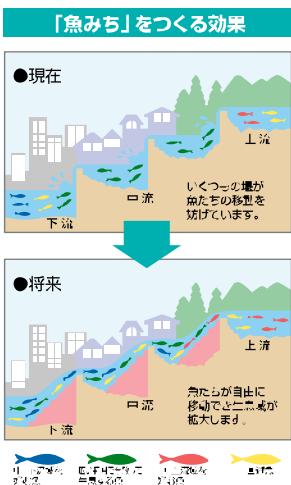


推進体制のイメージ



## 多様な生態系を育む 「魚みちプロジェクト」

野山に「獣みち」があるように、川にも魚たちが行き来する「魚みち」が必要です。私たちは、芥川で魚たちの移動を妨げている堰に「魚みち」をつけ、アユをはじめ多くの種類の魚が自由に行き来できる本来の河川環境の実現をめざしています。



## “実験魚みち”で貴重なデータが得されました。

芥川には治水対策のために多くの落差工が存在しています。落差工は市民生活を守るために構造物ですが、アユをはじめとする魚たちの行き来の妨げになっています。落差工に仮設魚道「実験魚みち」を設置し、遡上効果を検証するため、定置網調査を行っています。



実験魚みちを遡上した魚類等

種名	芥川大橋上流落差工	JR下流落差工
アユ	○	
コイ	○	○
ギンブナ	○	
オイカワ	○	
カラヒガイ	○	
タモロコ	○	○

念願のアユをはじめ、9種の魚類やモクズガニなどが「実験魚みち」を遡上したのが確認されました。確認された個体の最大体長はコイで50cm、ナマズで65cm。かなり大型の魚類も遡上できることができました。また、急な流れには生息しないムギツク、タモロコ、モツゴ等小魚たちも確認され、「実験魚みち」の構造が遊泳力の弱い魚類も休息を交えながら遡上できる形態を示しています。確認されたのは主に河川の中流～下流域に生息する魚たちですが、これだけ様々な種類の遡上が確認されたことは大きな成果と言えます。



## 芥川の自然を紹介した案内板が設置されました。

高槻グリーンライオンズクラブと高槻市が協力し、芥川の自然を紹介した案内板と、最近、芥川で繁殖はじめた外来植物（ミズヒマワリ）の啓発看板を設置して芥川の自然再生を呼びかけています。同クラブは以前から、芥川のホタルの保護や清掃活動を行っており、今回、自然再生に向けた2種類の案内板を設置することにより更に取組みを広げようとしています。ミズヒマワリは、中央・南アメリカ原産で環境省が定める特定外来生物です。6～10月頃に白く丸い花が咲き、繁殖力が極めて強く在来植物の生育場所を奪います。6月18日（日）、芥川資料館前河川敷で除幕式が行われ、その後、同クラブと芥川俱乐部などが参加してミズヒマワリの除去作業が行われました。



## まず、知る、行動する、 からはじめる

あくたがわ府民協働 「環境・啓蒙教育」を軸に芥川を学びます。

- 2005年
  - 4月14日 生き物プラスチック封入標本制作実施体験会
  - 4月29日 こいのぼりフェスタ1000にてクイズ大会開催
  - 6月・10月 北清水小学校と「芥川調査」を実施
  - 10月23日 芥川・水辺環境ウォッチングツアー開催
  - 11月20日 芥川・水辺フェスタ開催
  - 11月20日 川づくりワークグループによる芥川・自転車総断で実地検証
- 2006年
  - 4月29日 こいのぼりフェスタ1000にてクイズ大会開催
  - 5月 3日 芥川大橋上流落差工で「魚みち」観察会実施
  - 5月30日 ヒメボタル鑑賞会開催



## 広める! あくたがわ府民協働

より多くの共鳴の輪を創るために  
「広報啓発」活動を  
続けます。

- 2005年
  - 3月 6日 総勢40名でクリーンアップキャンペーン実施
  - 4月29日 実行準備委員会イベントとして鯉のぼりフェスタ1000に出展
  - 7月 7日 第1回ネットワーク会議開催  
「情報誌・芥川俱乐部創刊」
  - 7月17日 芥川クリーンアップキャンペーン実施
  - 9月10日 芥川俱乐部・公式ホームページ開設
  - 8月18日 第10回水シンポジウムinおおさかにてパネル出展
- 2006年
  - 1月27日 たかつきエコフェスタ2006にてPR・ワークショップ出展
  - 3月26日 「アユちゃんお帰り祭り」芥川・一斉クリーンアップを実施
  - 4月29日 鯉のぼりフェスタ1000に出展
  - 5月15日 JR下流落差工・JR利用者あて看板による広報活動
  - 5月28日 朝日新聞特集「環境ルネッサンス」にて紹介される。
  - 6月 7日 河川技術に関するシンポジウム（東京大学にて）武藤氏「庶民魚みちの試験設置」を発表し好評を得る。

